

## マタニティ婚からパパママ・キッズ婚へと変化 お客様のニーズに応える設備や演出で 価値を高める工夫を

近年、従来の「おめでた婚=マタニティ婚」からマーケットは変化してきている。そこで「生まれた子どもと一緒に挙式するパパママ・キッズ婚が主流となる時代も近いかもしれない」と語るのがミキハウス子育て総研(株)の代表取締役社長・藤田 洋氏だ。同社では妊婦や新生児育児期にあたるユーザーにやさしい施設に対して認定資格『ウェルカムベビーの結婚式場』を付与する事業を行っている。3年単位の更新の同認定には、第二期・三期の更新需要も多いそうだ。その理由とともに、現在のマーケット分析も含めた詳細について、藤田社長に語っていただいた。



ミキハウス子育て総研株式会社  
代表取締役社長  
藤田 洋氏

1978年大阪大学卒業後、日本リクルートセンター(現・リクルート)入社。企画室長、関西広告事業部長などを歴任し、約300社の人材採用・組織活性化をサポート。クライアントだったミキハウスのブランドイメージの基礎作りにも貢献。94年、ミキハウスに取締役本部長として入社。00年ミキハウス子育て総研(株)を設立。代表取締役社長に就任。ミキハウス&小学館プロダクション取締役副社長、一般社団法人日本子育て支援協会理事を兼務。

### パパママ・キッズ婚は黎明期から 認知が進んできた段階に

子どもミキハウス子育て総研では、お子さんがいる若いご夫婦への調査を毎週行なっています。2017年4月の調査(有効回答1542)では、第一子の妊娠がわかった時に入籍をしていなかった割合は34.8%と、3人に1人は「おめでた婚」という状況になっています。今や「おめでた婚」という言い方すらなくなり、結婚前からの同棲は当たり前で、人生の順番が明確に変わってきた感があります。

妊婦さんはつわりもあり、今後どこに住もうか、仕事は続けるかなど色々なことを考え、決めていかなければなりません。そこで私どもは、昨年から『Happy-Note For マタニティ』(7万部×年3回発行)という新雑誌を出しました。妊婦さん向けの、出産準備の情報誌で、産婦人科や「アカチャンホンポ」様の店頭などに置いています。これから自分はどうなっていくのか、妊婦さんのそんな不安にも応えられる、お役立ち情報誌です。

もう一つデータがあります。お子さんと一緒に結婚式を挙げるパパママ・キッズ婚に焦点を当て、2014年と2017年のマーケットを比較し、3年間の変化を調査したグラフです(別掲)。それによると、「パパママ・キッズ婚を挙げた時、子どもは何人いましたか?」の質問では、どちらも1人目の時が圧倒的に多く、9割近くを占めます。

「子どもが何歳の時に結婚式を挙げましたか?」の質問では、2014年調査では「1歳~2歳未満」が最多でした。これは、子どもが生まれてから式場に行き始めて決めたケースが多く、マタニティの段階で挙式するカップルもそれなりに存在すると考えられます。一方、2017年調査では「1歳未満」がもっとも多くなっており、この3年の間に、マタニティ婚からパパママ・キッズ婚に流れているという変化が見て取れます。

妊娠中に無理をして挙式するのではなく、子どもも主役の一人として、また家族のお披露目の場としての挙式が、市場に認められてきていることを強く感じます。実際に、パパママ・キッズ婚はマタニティ婚とオープンか、むしろ上回っていると答える式場様も増えてきています。いつまでもマタニティ婚に注力することは、結婚式は新郎新婦だけのものという価値観から抜け出せていないこととなります。

また、結婚式を挙げたカップルは、2014年には51.5%だったものが2017年には47.4%に微減しており、挙げていないほうが多くなっています。その一方で、機会があれば挙式したいと思っているカップルは、61.1%から68.7%にまで増えています。だからこそ今、パパママ・キッズ婚の価値を高めることが重要なのです。従来の、新郎新婦だけではない式の良さを伝えることで市場は動く、確

信を持っています。

### 新郎新婦にも参列者にもやさしい 『ウェルカムベビーの結婚式場』

出産年齢の幅が広がった昨今、挙式に呼びたい友人5人のうち1人か2人には小さいお子さんがいるのが現状です。式への参加を呼びかけても、「子どもを預ける場所がない」「迷惑をかけるから連れていけない」とあきらめられてしまう…それは、子連れ挙式のノウハウがなく、ニーズに応えられていないということです。

私どもは2012年から子育てされている方を応援したいと、『ウェルカムベビーの結婚式場』認定の事業を始めました。『ウェルカムベビーの結婚式場』とは、お子さま連れに配慮した設備やサービスなど、子どもが設けた50項目のうち、8割以上の一定基準を満たしている式場様のことです。キッズコーナーや、授乳・おむつ交換ができる完全個室の有無は施設によって顕著な差があり、高い水準でケアできることで顧客満足度がまったく違うと実感しています。対応が不十分だと、「トイレで寂しく授乳することになった」などと、ゲストの不満に結びつきます。

顧客のニーズに応えられれば選ばれる式場となり、お子さまのいる新郎新婦の挙式はもちろん、子どもを連れてきたゲストも安心して参列できることで、満足度の高い挙式が実現できるのです。『ウェルカムベビーの結婚式場』という客観的な認定を得る

ことで、お客様に安心していただき、認定ロゴマークや実際の設備を見せながら説明することで納得の受注につながるという、双方のニーズを満たしている手応えがあります。

『ウェルカムベビーの結婚式場』認定の契約式場は、表参道やみなとみらい地区をはじめ、北海道から沖縄まで全国に広がり、現在70会場ほどと、確実に増えています。ただ、ひとつの地域の中で認定施設数を絞ることで、他の式場との差別化を図っています。3年単位で更新いただいておりますが、リピート率も高く、更新を迎えるにあたって、子連れのお客様への対応のレベルがさらに上がっています。努力されている姿勢を感じるとともに、お客様が喜んでおられる実感を皆さんが持たれているからこそ、更新されているのだと思います。

また、新郎新婦の婚礼衣装と合わせて、70cm、80cmサイズ(6ヶ月~1歳ごろの身長)のフォーマルを式場に飾ったり、髪飾りなどで新婦と子どものペア感を出したり、「これを着せたい」と思っていたような工夫の提案もしています。さらに、日本子育て支援協会と共同で「パパママ・キッズ婚プランナー」養成も行なっており、認定を活かすことで業績に結びつ

いているとお声も、式場さんから多数いただいております。

### 潜在層を掘り起こす雑誌に 3年間無料でパブリシティを掲載

前述どおり、マタニティ婚からパパママ・キッズ婚への顕著な変化は、この3年間で大きく進んでいます。また子どもがいるからこそできる演出も、パパママ・キッズ婚の魅力です。たとえば新郎のご希望で、手作りのカートに子どもを乗せて入場したりと、色々なプランを開発できる余地があるのです。私どものノウハウや、『ウェルカムベビーの結婚式場』認定を活かして、お客様に強くアピールしていただきたいと思っています。

また、ホテルなど宿泊施設を対象とした『ウェルカムベビーのお宿』認定では、100項目にわたる認定項目を設けて、安全性やサービスの評価を行なっています。昨今は、小さな子どもを連れて実家に帰省する際にも、住宅事情などから、泊まるのは両親の実家ではなく宿泊施設であることが多いです。その場合、ただのツインの部屋ではなく、赤ちゃんをケアできる認定をきちんと取得していることがアピールポイントとなります。人口減が続くマーケットの中で価格競争に終始するより、「子連

れ旅行をあきらめさせない”受け入れ態勢の充実で、量的拡大はもちろん、付加価値料金も頂戴できる成長マーケットなのです。顧客の満足度も高く、3世代でのリピートにもつながり、めざすべきビジネスの姿があります。

なお、『ウェルカムベビーの結婚式場』認定は70万円(税別)、『ウェルカムベビーのお宿』認定は100万円(税別)で、いずれも3年間、情報誌『Happy-Note』(17万部・年5回発行)やWEBサイトにパブリシティを無料で掲載し、情報発信させていただくサービスがインクルードされています。『Happy-Note』は0~4歳の小さなお子さんがいる読者向けで、全国約1800の小児科、またミキハウスのショップに置いています。手に取る方の4割は新規で、また読者の2人に1人はまだ式を挙げていないと考えられるため、潜在的なパパママ・キッズ婚を掘り起こす、もともと川上に位置している媒体であることが強みです。

大きな時代の変化に対応すべく、私どもの『ウェルカムベビーの結婚式場』『ウェルカムベビーのお宿』認定制度のご活用が一助となれば幸いです。



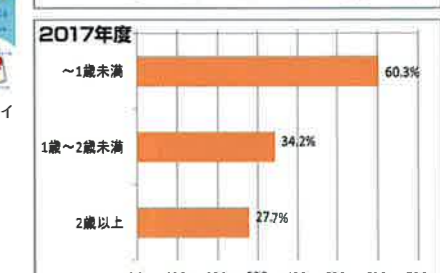
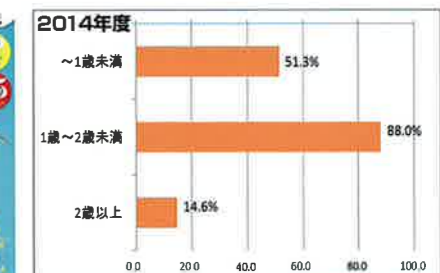
パパママ・キッズ婚の演出例(リノバ(新郎)手づくりのカートに乗った子どもの入場)写真提供/ベルヴィアズグレイス



季刊誌『Happy-Note For マタニティ』は全国の産婦人科などに配布



『Happy-Note』最新号。ウェブサイト『Happy-Note.com』とも連動



グラフ「子どもが何歳の時に結婚式を挙げましたか?」(複数回答) ※ミキハウス子育て総研調べ

### CORPORATE DATA

#### ミキハウス子育て総研 株式会社

【大阪事務所】 大阪市北区曽根崎新地 2-6-12 小学館ビル 4F TEL 06-4797-1088

【東京事務所】 東京都港区芝大門 1-4-8 浜松町清和ビル 2F TEL 03-5776-2242

【ユーザー向けサイト】 「Happy-Note.com」~ウェルカムベビーのお宿/ウェルカムベビーの結婚式場 <http://www.happy-note.com/>

【企業サイト】 <http://corp.happy-note.com/> 【設立】 2000年10月2日